

2026年2月13日

2025年度 名古屋栄養専門学校・学校関係者評価報告書

名古屋栄養専門学校
学校関係者評価委員会

2025年度名古屋栄養専門学校・学校関係者評価について、以下の通り報告します。

記

- 1 学校関係者評価委員
 - (1) 上原正子氏 愛知県栄養士会副会長（委員長）
 - (2) 平岩知樹氏 メーカー株式会社運営・商品戦略開発部
商品開発 G,メディカル給食 G 部長
 - (3) 柴田充代氏 管理栄養士（卒業生）

- 2 評価委員会開催日等
2026年2月7日（土）
15：00～16：30
名古屋栄養専門学校第一講義室

- 3 学校関係者評価
別紙の通り

別紙

基準項目ごとの学校関係者評価

1 教育理念・目標	
現状と課題等	<p>従来から、調理力、献立作成能力などいわゆる現場力のある栄養士を養成するのが教育理念である。現場で問題解決能力のある栄養士を養成したい。</p> <p>近年、基礎学力の低い学生が入学してくるケースがある。このような学生に対して計算基礎力を図るテストを実施し、合格点に達しない学生に対して個別指導を行い、在学中の学びに役立てるようにしている。</p>
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	<p>基礎学力の低い学生は、どのような仕事につきたいと言っているのか。人と話すこと、例えば栄養指導はできるのか。</p> <p>就職講座の授業に入ったときに、昔なら当然できないような廃棄率の問題など、多くの学生が比較的正確に理解していたのをみて、計算基礎力の個別指導の成果が発揮されていると感じた。</p> <p>個別指導は評価できる。学生にとっては「自分でもできる」と実感することが重要だ。</p>
学校側 改善案、回答など	<p>基礎学力の低い学生は調理をいかした仕事に就きたいというケースが多い。栄養指導は時には難しいと思われるので、個人の特性を生かした力が発揮できるように、採用側とも調整をすることが必要かもしれない。</p> <p>個別指導については確実に効果があると理解しているので、今後も続けていきたい。</p>

2 学校運営	
現状と課題等	<p>教育理念に基づいて、適切な学校運営を行っている。コロナ禍が続いたが、今ではほとんどもとに戻っている。</p> <p>ロッカー室が密にならないように1年生と2年生で授業の時間を10分ずらしたが、その時間差は現在でも実施している。</p> <p>適切な学校運営の実施によって、学生のモチベーションを高めていきたい。</p>
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	<p>おおむね適切な運営がなされていると思われる。適切な学校運営によって学生が達成感を感じることができればよい。</p> <p>何が達成感というかモチベーションになるかというのは、学生によって異なると思われる。「小中学校で習ってきたことが役にたった」、「このことを知っていないといけなかったのか」ということが専門学校の学校生活の中で実感できる結果を作り出すことが大切と思われる。</p>
学校側 改善案、回答など	<p>計算基礎力の個別指導では、ある程度説明したあと、チェックのためのテストを行い、合格点に達したら、開放している。このようなときに達成感を感じていると思われる。</p>

3 教育活動	
現状と課題等	<p>調理力、献立作成能力など現場で役にたつスキルを身につける教育活動を実施している。</p> <p>UFJ 銀行からの持ち込み企画があった。若者が闇バイトの被害にあわないように警察から啓発活動をしたいという内容だったので、秋祭りの一つのコーナーで、啓発用のパンフレットとともに、学生が作成した「警棒クッキー」を来場者に配布した。</p> <p>また、基礎的な計算ができない学生も毎年少なからず入学してくるので、時間を設け個別指導で、落ちこぼれのないような体制をとった。</p>
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	<p>学力の低い学生が入学してくるということだが、せっかく入った学校なので、無事卒業して栄養士の資格をとってほしいと思う。</p> <p>「好き」と感じることでモチベーションを高める一つの大きな要因かと思うので、そのような工夫も必要ではないか。</p>
学校側 改善案、回答など	<p>秋祭りなどのイベントを利用して、ものを作るということの楽しさなどを実感できる工夫をしていきたい。</p> <p>学生のモチベーションを高めるために、普段の実習授業などで、栄養士の意義と結びつくような授業の工夫も必要と考える。</p>

4 学修成果	
現状と課題等	<p>消費者庁が行っている全国規模の、食品表示に関する理解度の調査結果が発表されたので、本校の学生との比較を行った。</p> <p>その結果、全国の一般消費者と2年生との比較では31項目中21項目に、2年生の方が全国の一般消費者よりも理解度が高く、1年生との比較では、1年生の方が11項目で全国の消費者よりも理解度が高いという結果が得られた。また2年生の方が1年生より10項目で理解度が高かった。</p> <p>食品表示については、いろいろな講義や実習の場面で扱う内容なので、それなりに学習の成果として評価できるのではないかと思われた。</p>
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	<p>食品の表示については栄養士にとって大切な内容である。特に給食の現場ではアレルギーに関する表示は重要だ。また食品の企画を見て製造工程などを確認することもある。アレルギーのほかは栄養成分や使用方法などが中でも重要な情報だ。アレルギーに関しては表示してあれば除くしかないが、なかなか判断が難しいところがある。</p>
学校側 改善案、回答など	<p>概して一般の消費者より、理解度は優れているという結果にはなったものの、項目によってはもっと正確に知ってほしいという内容もあった。</p> <p>食品表示の見方は重要なので、将来現場で困らないように、学生の間になるべくマスターできるような体制をとりたい。</p>

5 学生支援	
現状と課題等	<p>毎年、簡単な計算問題のテストを行い、合格点に達しなかったものを週に1回個別に指導している。ある程度学習が進んだら、再度テストを行い、合格点に達したら開放している。この作業を繰り返し、合格点に達するまで個別指導を続けている。最終的に前期の間に全員が合格している。</p> <p>この計算基礎力とその後の在学中の成績との関連を調べたところ、22生は1年の前期こそ有意な正の相関があったものの、卒業期では相関が認められなくなった。このことは、入学当初の計算基礎力を把握し、できない学生に個別指導を行った結果、その後の成績との関連がなくなったのではないかと推測した。ただし、23生については最後の期まで当初の計算基礎力との関連が解消されなかったため、個別指導の結果がいつも有効に働いているとはいえないかもしれない。</p>
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	<p>計算力と在学中の成績との関連というのは非常にわかりやすく素晴らしいアプローチと思う。</p> <p>栄養士にとって、基本的な計算をする力は必要だということを入学当初からよく指導することは非常に良いことと思った。成績がどう変わっていくかは本人次第ということがあるが、折に触れて、もう一度振り返って学習を進めていくことは栄養士の資質向上に必要なことかと思った。</p> <p>計算自体は機械が代わりにやってくれたとしても、どういう原理で動いているのかは知っていないといけないと思った。</p>
学校側 改善案、回答など	<p>本校は小規模な学校であり、学生一人ひとりに目が届きやすいメリットをいかし、できるだけ落ちこぼれのないようなきめの細かい指導に心がけたい</p>

6 教育環境	
現状と課題等	<p>2つの調理実習室、大量調理用の実習室、実験室等を備え、教育の充実を図っている。</p> <p>理系の学生が入ってくるわけでもないのに、近年の学力低下の学生の問題がある。これらの学生については計算力だけでなく「読む」「書く」といった学力も重要と考える。</p>
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	<p>基礎的な計算とか「読む」、「書く」といった基本的な学力の問題は家庭環境の要因も大きいのではないかと。</p> <p>最近の学生はAIを使ったり、タブレットを使ったりするのは得意か。</p> <p>子供に算数を教える時でも、自分の頭ではわかっているが、どうやったらこの子が理解できるのか、あるいは教科書に書いてあることが分かりにくいと思ったことがある。</p> <p>できなかったからダメというのではなく、もう一回覚え直してやってみるといった感覚が必要なのではないかと。</p>
学校側 改善案、回答など	<p>最近の学生はスマホが中心アイテムである。情報のとり方はあまりうまくなく、栄養情報をリーフレットに使ったりするとき、適切な取捨選択ができない傾向がある。</p> <p>普段の授業時でも、どうやったら理解できるのかについて工夫をしているが、よりいっそう学生の立場に立って、工夫を重ねる努力をしていきたい。</p>

7 学生の受入れ募集	
現状と課題等	<p>4 年間、定員を確保していたが、昨年は定員を下回った。本年は昨年と同等か少し少なくなると思われる。</p> <p>従来から、学生の本校選択理由としては、「実習の時間が多い」、「教員と学生の距離が近い」、「管理栄養士対策を行っている」、などがあがっている。この傾向に大きな変化はないように思われる。</p> <p>入学してくる学生はさまざまである。中には発達障害と思われる学生もいる。</p>
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	<p>いろんな学生がいると思うが、せっかく入ってきた学校なので栄養士の資格をとってほしい。</p> <p>いろいろな障害があってもできる仕事はある。</p>
学校側 改善案、回答など	<p>様々なアンケートなどを通じ、学習成果の見える化をはかり、学校ではこのようなことが身につくということを様々な機会を通じて発信していきたい。</p> <p>学生の特性をいかした仕事に就けるよう、より一層就職部門と密接な調整を図っていきたい。</p>

8 財務	
現状と課題等	中西学園として適切に運営されている。
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	概ね適切と思われる。
学校側 改善案、回答など	特になし。

9 法令等の遵守	
現状と課題等	各種法令、基準に則って運営している。
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	適切と思われる。
学校側 改善案、回答など	特になし。

10 国際交流	
現状と課題等	ここ数年、留学生は入学していない。
学校関係者評価委員会 評価、意見、提案など	適切と思われる。
学校側 改善案、回答など	毎年一人あるかないかの状況である。漢字圏の国の場合でないと、授業に対応できなくて、続けるのが難しくなる。しかし、多様化には対応せざるを得ないので、栄養士になりたいという留学生がいれば、可能な限り対応していきたい。